

矢吹町でノスタルジックを楽しもう 大正ロマンの館

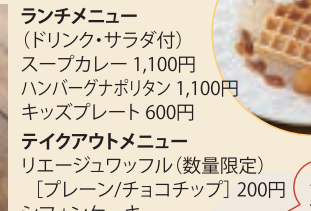


4/21OPEN Li-Li CAFÉ

ノスタルジックな雰囲気なか  
こだわりのカフェグルメを  
ゆっくり味わって!

オーナー 長尾裕之さん

キッチンカーでおなじみのLi-Li CAFEが、「大正ロマンの館」3代目のカフェとしてオープン!定番人気のワッフルや和風シフォンケーキのほか、小麦粉や旬の野菜、フルーツなど県産の食材にこだわったランチメニューや有機コーヒーが楽しめます!



ランチメニュー  
(ドリンク・サラダ付)  
スープカレー 1,100円  
ハンバーグナポリタン 1,100円  
キッズプレート 600円

テイクアウトメニュー  
リエージュワッフル(数量限定)  
[プレーン/チョコチップ] 200円  
シフォンケーキ  
[みそ味/黒ごま味のセット] 300円  
青のクリームソーダ 500円

テイクアウト  
できます!

5/12(木)よりナイトタイムが  
スタートしました!(ホ~土限定営業)

「大正ロマンの館」の夜を、オーナー厳選の  
浜グルメとおいしいお酒で満喫!



◀木製の古家具やアンティーク調の  
ソファがある撮影ルームで  
思い出の一枚を!

歴史を感じる建物は  
フォトスポットがいっぱい▶



▲2階のフリースペース。木のテーブルは  
光南高校と矢吹中学校の生徒たちによる手作り。  
レトロな窓枠や見事な天井の装飾にも注目!



# 矢吹町でノスタルジックを楽しもう 大正ロマンの館

矢吹町の中心市街地でひとときを日立つ「大正ロマンの館」は、  
大正9年(1920年)に住居兼医院として建てられた木造洋風建築です。

## 100年の時を刻む歴史的建築

矢吹町は、江戸時代に奥州街道の宿場町として街並みが整い、明治期以降は宮内庁の開墾所が開設され、開拓地となったことで、さまざまな地から人々を受け入れてきました。大正9年、町に移り住み開業した屋形眞医師もその一人。「大正ロマンの館」は、屋形眞医師によって建てられた旧屋形医院が前身です。白亜の外観に柱頭飾りを持つ円柱やアーチのある玄関ポーチ、室内天井や二階バルコニー外壁の漆喰の装飾、上げ下げ窓など、西洋近代建築を取り入れたモダンなこの建物は、昭和40年代に閉院するまで医院として使われました。「その後はずっと空家でしたが、白い洋館がある眺めは子どもころから慣れ親しんだ風景でした」というのは指定管理者で、この春にカフェをオープンした長尾裕之さん。「町や商工会青年部の先輩たちが、屋形家のご厚意のもと、平成7年(1995年)にライトアップをスタートしました。「大正ロマンの館」という呼び名もこの時から始まりました」。

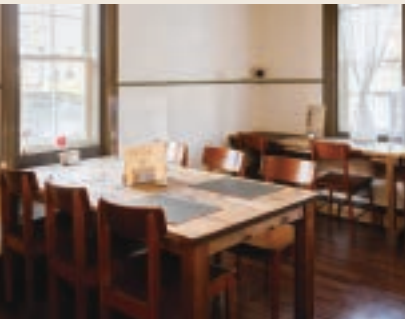
## 大震災を乗り越え 復興のシンボルへ

以来、「大正ロマンの館」は町のシンボルとなりました。しかし、2011年3月の東日本大震災によって町の半数が全半壊し、築90年の旧屋形医院も、象徴だったファサードが崩れ落ちるなど大きく損壊。解体の危機に直面します。「周辺の店舗や建物は取り壊しが相次ぎましたが、それでも存続を望む声は大きかったと聞いています。そこで、町と住民、専門家による中心市街地復興プロジェクトの一環として建物を再生し、公共施設として活用するごことになりました」と、矢吹町商工推進課の鈴木さん。地元ボランティアによって被災部材

## 懐かしくて新しい癒しの空間

「古い部材はできる限り活かしました。鏝絵と呼ばれる漆喰装飾の修繕では伝統技術を持つ職人が見つからず、建物の歴史的な価値を改めて感じました」というのは工事に立ち会った担当者の言葉です。かつて診察室や薬局があった1階はカフェスペースに、院長室や事務室があった2階にはフリースペースがあり、学習や貸会議室に。枯れ色の窓枠や木扉、家具、天井装飾など、医院当時のままの部材やデザインが印象的です。

屋形医院時代の写真や資料が展示されたエントランスでは、創建当時の建物や町の様子を見ながら会話が弾むことも多いという長尾さん。「地元の人への癒しと交流の場としてはもちろん、向かいには老舗酒蔵の木代吉さん、お隣には複合施設KOKOTTOもあるので、ここを拠点にまち歩きを楽しんでもらえれば」といいます。ステキなソファや家具が置かれた撮影ルームもありますが、建物内外はどこも撮影フリー。たづねり時間を用意して、ノスタルジックな雰囲気を大いに味わいましょう。



▲カフェスペース。100年の歴史を感じる心地よい空間。



ノスタルジックな雰囲気のなか  
ゆったりとしたひとときを!

開業当時、矢吹宿の面影が残る通りに現れたモダンな西洋館は、ひととき異彩を放つ存在でした。屋形先生は、診療費を払えない人からじゃがいも(かんぷら)を受けとることもあり「かんぷら先生」と親しまれたそう。町内の特別な集まりに建物が使用されることもあったようです。そうした交流の深さが、長い時を経て町の人たちがこの建物に心を寄せてきた理由だと思えます。

「大正ロマンの館」は、改修工事で耐震性や気密性を高めつつ、木の温もりにあふれ、街並みにとけこむ心地よい集いの空間になりました。ノスタルジックな空間でカフェタイムを楽しんだり、勉強したりと思いのままにゆったりとお過ごしください!

開業当初の屋形医院。特徴の円柱やアーチで飾られた玄関ポーチは東日本大震災までほぼ当時のままだった。



矢吹町役場 商工推進課地域活性化係 鈴木大等さん



指定管理者 / Li-Li CAFEオーナー 長尾裕之さん

大正ロマンの館 矢吹町本町161-7 [駐車場]まちなか臨時駐車場 [休]毎週火曜日、第2・4水曜日 [問]TEL0248-21-8883	1階 Li-Liカフェ ランチタイム 11:00~14:00 カフェタイム 14:00~17:00 ナイトタイム 18:00~21:00	2階 フリースペース・フォトスペース (利用無料) ※会議等で使用する場合は要予約となります。
---	---	---